Canon
キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター(全国共通番号)

050-555-90005

受付時間:平日 9:00～20:00
土・日・祝日 10:00～17:00
(1月1日～1月3日は休ませていただきます)

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9630をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社
http://canon.jp/bebit/

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 デジタルカメラ製品情報
http://canon.jp/dc/

キヤノンサポートページ
http://canon.jp/support/

CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net/

Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

CDI-J267-XXX XXXXXXX PRINTED IN JAPAN

Canon

キヤノンデジタルカメラ
IXY DIGITAL 90

カメラユーザーガイド
はじめにお読みください

本書では、カメラの準備や基本的な使いかたを説明しています。

ガイドの使いかた

以下のガイドが用意されています。必要に応じてお読みください。

付属品・別売品を確認する → システムマップ

▼

各部の名称を確認する
▼
準備する
・バッテリーを充電する
・バッテリー、メモリーカードを入れる
・日付 / 時刻、言語を設定する
▼
撮影する
再生 / 消去する
▼
メニューの表示 / 設定方法

→ カメラユーザーガイド 基本編（本書）
* はじめにお読みください

▼

取り扱い上のご注意、撮影や再生のいろいろな機能を確認する → カメラユーザーガイド 応用編

▼

印刷する → ダイレクトプリント ユーザーガイド

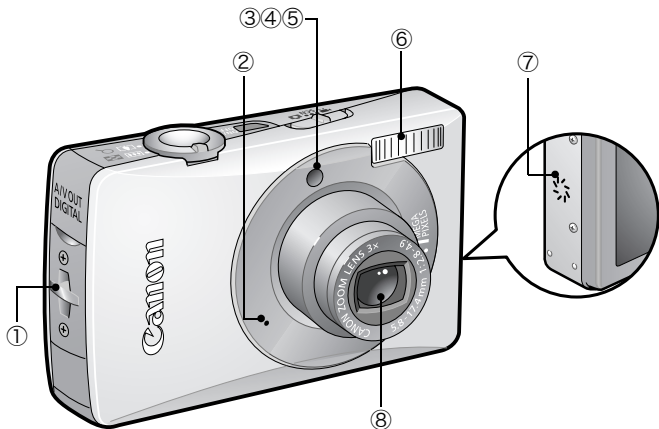
▼

・ソフトウェアをインストールする
・パソコンに画像を取り込む
・ソフトウェアを使う

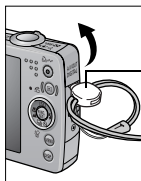
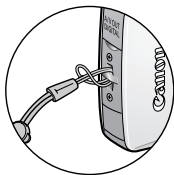
→ カメラユーザーガイド 基本編（本書）
→ ソフトウェア クイックガイド
→ ZoomBrowser EX/ ImageBrowser ソフトウェアガイド

付属のメモリーカードでは、このカメラの性能を十分に発揮できない場合があります。

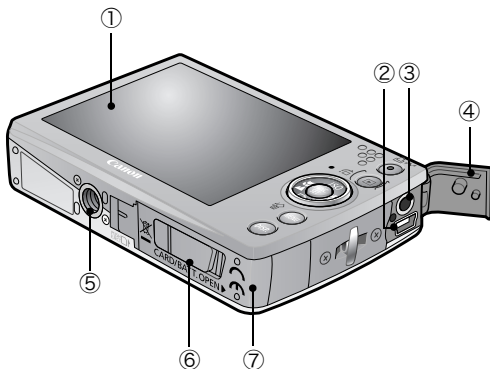
各部の名称

■前面

①リストストラップ取り付け部
②マイク（応用編 p.39、応用編 p.84、応用編 p.86）
③ AF 補助光投光部（応用編 p.23）
④赤目緩和ランプ（応用編 p.33）
⑤セルフタイマーランプ（p.16）
⑥ストロボ（p.14）
⑦スピーカー
⑧レンズ

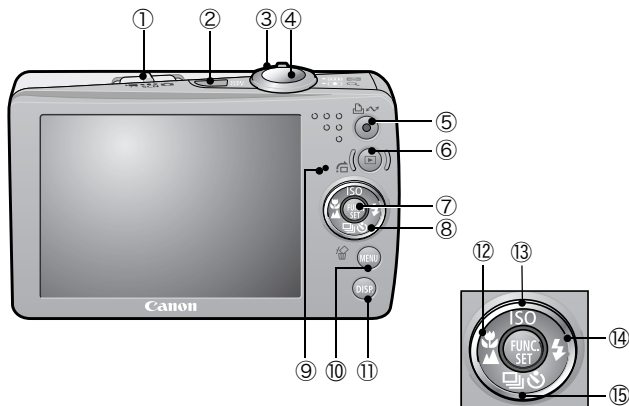
リストストラップの取り付けかた

端子カバーの開けかた

止め具
ひも上の位置を変えることができます。
また、端子カバーを開けるときやメモリーカードの出し入れをするときに使います。

カメラをお使いになるときは、落下防止のため、リストストラップの装着をおすすめします。

■背面

①液晶モニター（応用編 p.12、応用編 p.15）
② DIGITAL（デジタル）端子（p.27）
③ A/V OUT（映像 / 音声出力）端子（応用編 p.94）
④端子カバー
⑤三脚ねじ穴
⑥ DC カプラー端子カバー（応用編 p.126）
⑦メモリーカードスロット / バッテリーカバー（p.6）

インターフェースケーブルと AV ケーブルは、同時に接続できません。

■操作部

①モードスイッチ（p.10、p.11）
②電源スイッチ（p.10）
③ズームレバー（p.14、応用編 p.71）
　撮影時：（広角）/（望遠）
　再生時：（インデックス）/ 🔍（拡大）
④シャッターボタン（p.10）
⑤（イージーダイレクト）ボタン（p.22、p.30、応用編 p.61、応用編 p.62）
⑥▶（再生）ボタン（p.9、p.18、応用編 p.71、応用編 p.93）
⑦ FUNC./SET（ファンクション / セット）ボタン（p.20、応用編 p.21）
⑧タッチホイール（p.4）
⑨ランプ（p.5）
⑩ MENU（メニュー）ボタン（p.21、応用編 p.22）
⑪ DISP.（ディスプレイ）ボタン（応用編 p.12）
⑫（マクロ）/（遠景）/ ←ボタン（p.15）
⑬ISO（ISO 感度）/（ジャンプ）/ ↑ボタン（応用編 p.60、p.74）
⑭（ストロボ）/ →ボタン（p.14）
⑮（連写）/（セルフタイマー）/（1 画像消去）/ ↓ボタン（p.16、p.19、応用編 p.34）

タッチホイールの使いかた

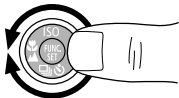
■指をのせる

タッチホイールに指をのせると、液晶モニターにタッチホイールの拡大図が表示されます。そのまま押すと、各ボタンに割り当てられた機能の設定ができます。

撮影時の画面例

- 設定できない機能はグレー表示になります。
- ホイール表示の入 / 切は、[設定] メニューで変更できます（応用編 p.25）。
- ホイール表示が［切］のときは、指をのせた機能のアイコンが緑になります。

■指で回す

タッチホイール上で指を回すと、項目選択や画像選択などができます。反時計回りで ◆ ボタン、時計回りで ◆ ボタンと同じ働きをします（機能によっては ◆/◆ボタンの働きをする場合もあります）。

撮影モード選択時の画面例

タッチホイールを回して操作できる機能は、次のとおりです。ただし、機能によっては、操作できない項目があります。

	操作できる機能	参照先	
		基本編	応用編
撮影時	撮影モードの選択	p.11	−
	⚡/🌷/▲/▣/⏲/ISO の選択	p.14、p.15、p.16	p.34、p.60
	FUNC. メニューでの設定内容の選択	p.20	p.21
再生時	画像選択	p.18	p.71、p.72、p.73、p.74、p.91、p.96
	動画再生、編集時の各種操作	−	p.75、p.77
	音声メモ、サウンドレコーダーの操作	−	p.84、p.86
	DPOF の印刷指定、送信指定の操作	−	p.98、p.102
撮影時と再生時	メニューでの項目選択	p.21	p.22
	世界時計のエリア選択	−	p.19
	マイカメラコンテンツの項目選択	−	p.105

ランプの点灯 / 点滅について

カメラのランプは、以下の場合に点灯、点滅します。

ランプが緑色に点滅しているときは、絶対に次のことを行わないでください。画像データが壊れることがあります。
・振動や衝撃を与える
・電源を切ったり、メモリーカードスロット / バッテリーカバーを開ける

緑点灯：撮影準備完了（電子音が 2 回鳴ります）* / パソコン接続時 / ディスプレイオフ時（応用編 p.26）

緑点滅：カメラの起動中 / インターバル（動画）撮影中 / 画像の記録 / 読み出し / 消去 / 転送（パソコン / プリンター接続時）

橙点灯：撮影準備完了（ストロボ発光）

橙点滅：撮影準備完了（手ぶれ警告）

*ピントが合いにくいときは、電子音が1 回鳴ります。

準備する

1. バッテリーを充電する

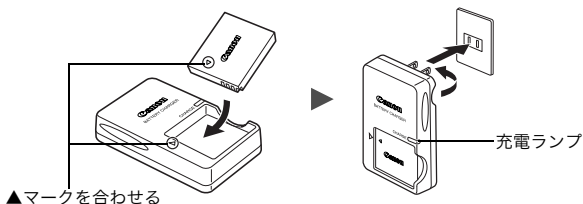
次のような場合に、バッテリーを充電してください。

・はじめて使用するとき

・「バッテリーを交換してください」とメッセージが表示されたとき

1. バッテリーチャージャーにバッテリーをセットする

2. コンセントに差し込む

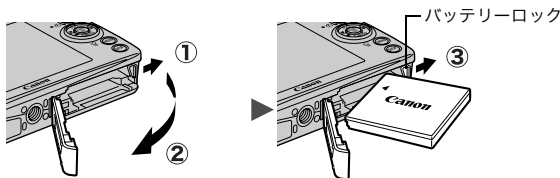
充電中は充電ランプが橙色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。約 1 時間 30 分で充電が終わります。

バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。

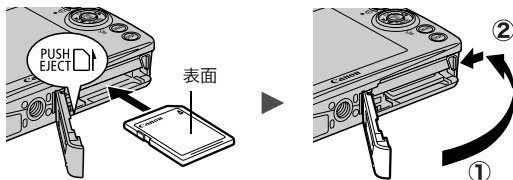
応用編：バッテリーの取り扱い（p.121）

2. バッテリーを入れる

1. メモリーカードスロット/バッテリーカバーをスライドして開く（①、②）

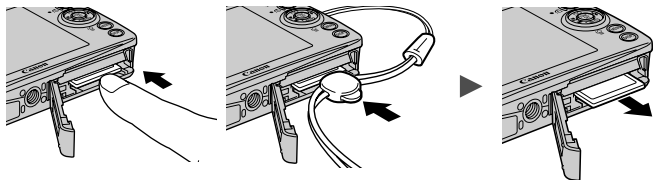
2. バッテリーロックを矢印の方向に押しながら（③）、バッテリーがロックされるまで入れる

バッテリーを取り出すときは、バッテリーロックを矢印（③）の方向に押しながら取り出します。

3. メモリーカードを入れる

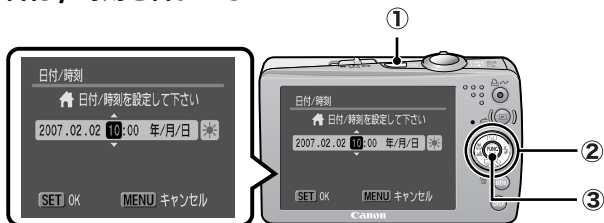
1. メモリーカードを「カチッ」と音がするまで差し込む
2. メモリーカードスロット/バッテリーカバーを閉じる(①、②)

メモリーカードは、必ず正しい向きでカメラに入れてください。誤って逆に入れた場合、カメラがメモリーカードを認識しなかったり、カメラの故障の原因となることがあります。

応用編：メモリーカードの取り扱い（p.124）
応用編：メモリーカードを初期化する（p.28）

■メモリーカードを取り出すには

「カチッ」と音がするまで、指またはリストストラップの止め具でメモリーカードを奥に押し込んで、放します。

このカメラでは、SD メモリーカード、SDHC メモリーカードとマルチメディアカードをお使いになれます。このガイドでは、これらを、メモリーカードと表記します。

はじめてお使いの場合

■日付 / 時刻を合わせる

1. **電源スイッチを押す（①）**
2. **←/→ボタンで設定したい項目を選び、↑/↓ボタンで設定する（②）**
   サマータイムを設定する場合は、☀を選び、↑/↓ボタンで設定します。
3. **正しい日時が表示されていることを確認し、FUNC./SETボタンを押す（③）**
   設定メニューでも、日付 / 時刻を設定できます（p.21）。

・カメラには、日付 / 時刻などの設定を保持するためのリチウム充電池が内蔵されています。カメラにバッテリーを入れたときに充電されますので、ご購入時に、バッテリーを4時間程度入れておくか、ACアダプターキット ACK-DC10（別売）を使用して充電してください。カメラの電源が入っていなくても充電できます。

・バッテリーを取り出してから約3週間経過すると、設定した日付 / 時刻が解除される場合があります。再度、設定し直してください。

→応用編：世界時計を設定する（p.19）

■メニューの表示言語を設定する

ご購入時は、日本語に設定されていますので、変更する必要はありません。

1. **▶ボタンを押す**
2. **FUNC./SET ボタンを押しながら、MENU ボタンを押す**
3. **↑/↓/←/→ボタンで言語を選び、FUNC./SET ボタンを押す**
   設定メニューでも、表示言語を設定できます（p.21）。

基本操作

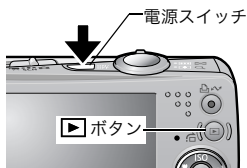
電源を入れる / 切る

1. 電源スイッチまたは▶ボタンを押す

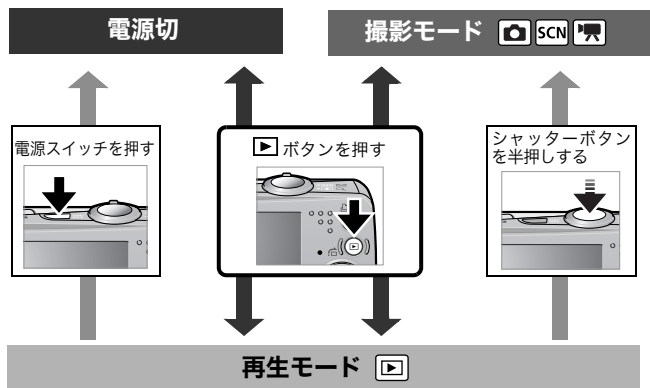
起動音が鳴り、液晶モニターに起動画面が表示されます。

電源スイッチ

▶ボタン

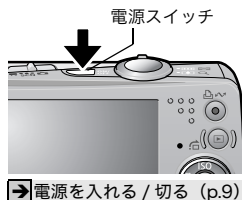
- 電源スイッチを押すと撮影モード、▶ボタンを押すと再生モードになります。
- もう一度電源スイッチを押すと、電源が切れます。
- MENU ボタンを押しながら電源を入れると、消音設定が [入] になり、警告音以外のすべての音が鳴らない設定になります。

➔ 応用編：液晶モニターの使いかた（p.12）
➔ 応用編：節電機能について（p.18）
➔ 応用編：設定メニュー（p.25）
➔ 応用編：マイカメラメニュー（p.27）

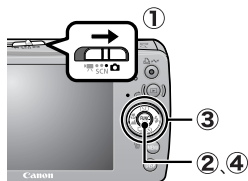
■▶ボタンの使いかた

▶ボタンで電源の入 / 切や撮影 / 再生モードの切り換えができます。

＊▶ボタンに、よく使う機能を登録することができます（応用編 p.93）。

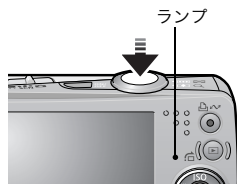
撮影する

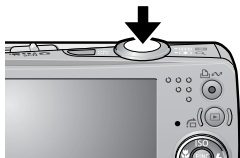
1. 電源スイッチを押す

➔電源を入れる / 切る（p.9）

2. 撮影モードを（オート）にする

1. モードスイッチを（撮影）にする（①）
2. FUNC./SET ボタンを押し（②）、◆/◆ボタン（③）で（オート）を選ぶ
3. FUNC./SET ボタンを押す（④）

3. 被写体にカメラを向ける

4. ピントを合わせて撮影する

1. シャッターボタンを浅く押して（半押し）、ピントを合わせる
   ピントが合うと電子音が「ピピッ」と 2 回鳴り、ランプが緑色（ストロボ発光時は橙色）に点灯します。また、液晶モニターには、ピントが合った位置に AF 枠が緑色で表示されます。

2. **シャッターボタンを深く押して(全押し)、撮影する**

シャッター音が鳴り、撮影されます。ランプが緑色に点滅し、メモリーカードに記録されます。

ランプの点灯 / 点滅について（p.5）
応用編でいろいろな撮影方法をご確認ください。

■撮影直後に画像を確認する

撮影直後に約 2 秒間、撮影した画像が表示されます。
次の方法で設定時間にかかわらず画像を表示し続けます。

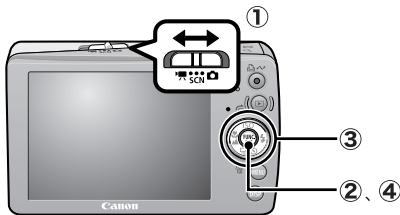
・シャッターボタンを全押しし続ける
・撮影した画像が表示されている間にFUNC./SETボタン、またはDISP.ボタンを押す

画像表示の解除のしかた：シャッターボタンを半押しします。

応用編：撮影の確認（p.23）
応用編：撮影直後にピントを確認する（p.65）
消去する（p.19）

撮影モードを選ぶ

1. **モードスイッチを(撮影)、SCN(スペシャルシーン)または(動画)にする（①）**
2. **FUNC./SET ボタンを押し（②）、←/→ボタン（③）で撮影モードを選ぶ**

   タッチホイールでも選べます。
3. **FUNC./SET ボタンを押す（④）**

■撮影モードの種類

撮影

オート

カメラまかせで撮影できます。

マニュアル

露出を補正したり、ホワイトバランス、マイカラー、ISO 感度などを自分で選んで撮影できます。

デジタルマクロ

レンズ先端から被写体までの距離が3～10cmのときに使います（ワイド端固定）。画像の中央をトリミングするため、通常のマクロ撮影よりも、被写体を大きく撮影できます。応用編（p.32）

ワンポイントカラー

画面内の指定した色以外を白黒にして撮影できます。

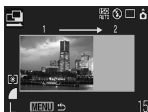
応用編（p.55）

スイッチカラー

画面内の指定した色を別の色に変更して撮影できます。

応用編（p.57）

スティッチアシスト

撮影した画像をパソコンで合成してパノラマ画像を作れます。応用編（p.42）

SCN スペシャルシーン

ポートレート

人物をやわらかい調子で撮影できます。

ナイトスナップ

夕暮れや夜景をバックに人物をスナップ撮影したいとき、三脚がなくても手ぶれを少なく撮影できます。

キッズ&ペット

よく動きまわる子供やペットを、シャッターチャンスを逃さずに撮影できます。

パーティー / 室内

蛍光灯や電球のもとで、手ぶれをおさえて被写体に忠実な色味で撮影できます。

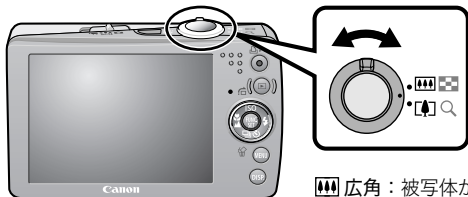
モード	内容
SCN スペシャルシーン	**新緑 / 紅葉** 新緑、紅葉、桜など、木々や葉を色鮮やかに撮影できます。
	スノー 雪景色をバックにしても人物が暗くならず、青みも残らないで撮影できます。
	ビーチ 太陽光の反射の強い海面や砂浜でも、人物などが暗くならずに撮影できます。
	打上げ花火 打上げ花火を最適な露出で鮮やかに撮影できます。
	水族館 屋内の水槽内の魚などを撮影するのに適した感度、ホワイトバランス、色味に設定されます。
	水中 ウォータープルーフケース WP-DC14（別売）を使った水中での撮影に最適です。水中に最適なホワイトバランスに設定され、青みをおさえた自然な色合いで撮影できます。
 動画	**動画** シャッターボタンを押すと、動画を撮影できます。 「スタンダード」の他、スポーツなど速い動きの撮影に適した「スムーズ」、メールの添付に便利な「ライト」、指定した色以外を白黒にして撮影する「ワンポイントカラー」、指定した色を別の色に変更して撮影する「スイッチカラー」、指定した撮影間隔で 1 フレームずつ撮影する「インターバル」を設定できます。➔ 応用編 (p.37)

- では、シャッタースピードが遅くなります。手ぶれを防ぐために必ず三脚をお使いください。
- 、、、、、、では、撮影シーンによっては、ISO 感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。
- は、被写体から 1m 以上離れてお使いください。

- 水中で撮影する場合は、ウォータープルーフケース WP-DC14（別売）を装着してください。
- スキー場や海辺で撮影する場合は、ウォータープルーフケース WP-DC14 の装着をおすすめします。

ズームを使う

1. ズームレバーを 側、または 側に押す

35mm フィルム換算で、35 ～ 105mm（焦点距離）の範囲で画角を調節できます。

広角：被写体が小さくなります。
望遠：被写体が大きくなります。

ストロボを使う

1. ボタンを押し（①）、/ ボタンで切り換える（②）

タッチホイールでも選べます。

：オート
：常時発光
：発光禁止

応用編：赤目緩和機能を設定する（p.33）
応用編：スローシンクロを設定する（p.33）

手ぶれ警告アイコン（ ）が表示されたときは、三脚などでカメラを固定して撮影することをおすすめします。

（オート）では、 は設定できません。

応用編：各撮影モードで設定できる機能一覧（p.144）
撮影モードを選ぶ（p.11）

至近距離 / 遠距離で撮る

1. 🌷/▲ボタンを押し（①）、←/→ボタンで切り換える（②）

タッチホイールでも選べます。
解除のしかた：🌷/▲ボタンを押し、←/→ボタンで（通常撮影）を選択します。

🌷	**至近距離（マクロ）** 花や小さなものなどに近付いて大きく撮れます。 被写体に最も近付いたときの撮影範囲（撮影距離） ・ 最も広角側：37 × 27mm（レンズ先端から 3cm） ・ 最も望遠側：108 × 81mm（レンズ先端から 30cm）
▲	**遠距離（遠景）** レンズ先端から被写体までの距離が3m以上離れているときに使います。

マクロモードのときにストロボを使うと、画像の明るさが適切にならないことがあります。

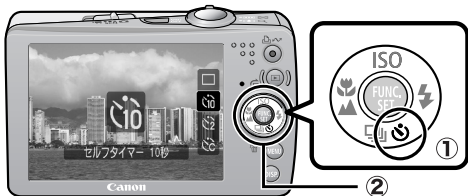
（オート）では、▲は設定できません。

➔ 応用編：各撮影モードで設定できる機能一覧（p.144）
➔ 撮影モードを選ぶ（p.11）

セルフタイマーで撮る

1. ボタンを押し（①）、▲/▼ボタンで切り換える（②）

・タッチホイールでも選べます。
・シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが点滅（赤目緩和機能設定時は撮影の 2 秒前から点灯）します。
・ の場合、撮影開始時間と撮影枚数を変更できます（p.17）。

解除のしかた：ボタンを押し、▲/▼ボタンで を選択します。

	10 秒後：シャッターボタンを押してから、10 秒後に撮影します。 ・ 撮影の2秒前になるとセルフタイマー音が速く鳴り*1、セルフタイマーランプの点滅も速くなります。
	2 秒後：シャッターボタンを押してから、2 秒後に撮影します。 ・ シャッターボタンを押すと同時にセルフタイマー音が速く鳴り*1、2 秒後に撮影されます。
	カスタム：セルフタイマーの開始時間（0 〜 10*2、15、20、30 秒後）や撮影枚数（1 〜 3*2 〜 10 枚）を変更して撮影できます。 ・［時間］が 2 秒以上の場合、セルフタイマー音は撮影の 2 秒前から速く鳴り始めます*1。［枚数］で複数画像を設定したときは、1 画像目の撮影時のみセルフタイマー音が鳴ります。

＊1 マイカメラコンテンツ（応用編 p.104）の設定により異なります。
＊2 初期設定

撮影モードによっては、設定できないことがあります。

➔ 応用編：各撮影モードで設定できる機能一覧（p.144）
➔ 撮影モードを選ぶ（p.11）

■撮影開始時間と撮影枚数を変更する（）

1. ［（撮影）］メニューから［セルフタイマー］を選び、FUNC./SET ボタンを押す

メニューの表示と設定のしかた（p.20）

2. ▲/▼ボタンで［時間］または［枚数］を選び、◀/▶ボタンで設定内容を変更して FUNC./SET ボタンを押す

3. MENU ボタンを押す

［枚数］が 2 枚以上の場合、次のようになります。
・1 画像目の撮影で、露出やホワイトバランスが固定されます。
・ストロボが発光するときは、撮影間隔が長くなります。
・カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなることがあります。
・メモリーカードの容量がいっぱいになると自動的に撮影を終了します。

再生する

1. ▶ボタンを押す（①）

最後に撮影した画像が表示されます。ただし、一度再生した場合には、最後に再生した画像が表示されます（再生レジューム）。また、メモリーカードを交換したり、パソコンでメモリーカード内の画像を編集した場合は、最新画像を表示します。

2. ←/→ボタンで見たい画像を表示する（②）

・←ボタンで前の画像、→ボタンで次の画像を表示します。ボタンを押し続けると早く進みます。ただし、表示される画像は粗くなります。

・タッチホイール上で指を左右に回しても、画像を選べます。反時計回りに指を動かすと前の画像、時計回りに動かすと次の画像を表示します。

タッチホイール操作時の再生画面

→ 応用編でいろいろな再生方法をご確認ください。

→ タッチホイールの使いかた（p.4）

消去する

1. **再生モードのとき、←/→ボタンで消去したい画像を選び（①）、🗑ボタンを押す（②）**
タッチホイールでも画像を選べます。

2. **[消去] が選択されていることを確認し、FUNC./SET ボタンを押す（③）**
操作を取り消すときは、[キャンセル] を選びます。

消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。

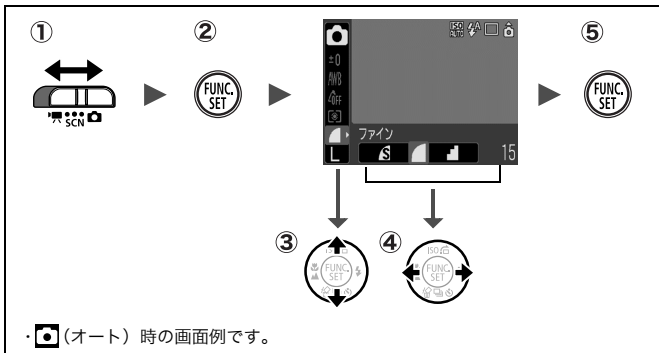
→ 応用編：画像を消去する（p.96）

メニューの表示と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、印刷の設定、日付 / 時刻、電子音などのカメラの設定は、FUNC. メニューまたは撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニューを使って操作します。

FUNC. メニュー

撮影時に、よく使う機能を設定します。

・(オート)時の画面例です。

① モードスイッチを、SCNまたはにする

② FUNC./SET ボタンを押す

③ ↑/↓ボタンでメニュー項目を選ぶ

・撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。

④ ←/→ボタンで設定内容を選ぶ

・タッチホイールでも選べます。

・設定項目によっては、MENU ボタンでさらに変更できます。

・選択後、シャッターボタンを押してすぐに撮影できます。撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

⑤ FUNC./SET ボタンを押す

→ 応用編 : メニュー一覧 (p.23)

撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニュー

撮影 / 再生 / 印刷時の便利な機能を設定します。

・（オート）時の撮影メニューの画面例です。

・再生時は、再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニューが表示されます。

① MENU ボタンを押す

② ←/→ ボタンでメニューを切り換える

・ズームレバーでもメニューの切り換えができます。

③ ↑/↓ボタンでメニュー項目を選ぶ

・タッチホイールでも選べます。

・撮影モードによって、表示されるメニュー項目が異なります。

④ ←/→ ボタンで設定内容を選ぶ

・「. . . 」のある項目では、FUNC./SET ボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度 FUNC./SET ボタンを押して設定内容を確定します。

⑤ MENU ボタンを押す

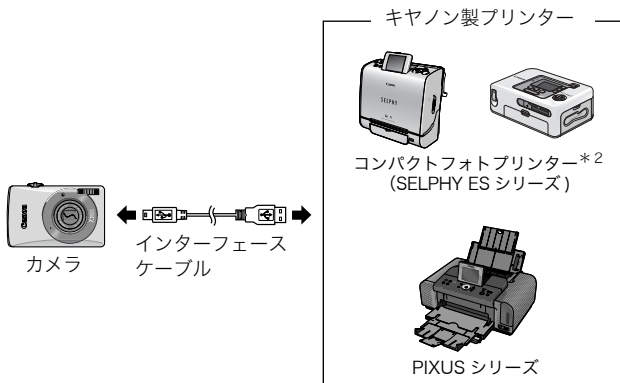
➔ 応用編 : メニュー一覧 (p.23)

印刷する

カメラとカメラダイレクト対応プリンター*[1]をケーブルで直接つなぎ、ボタンを押すだけで、簡単に印刷できます。

1. カメラとカメラダイレクト対応プリンターを接続し、プリンターの電源を入れる

カメラ

インターフェースケーブル

＊1 このカメラは標準規格「PictBridge（ピクトブリッジ）」に対応していますので、キヤノン製プリンターだけでなく、キヤノン製以外の PictBridge 対応プリンターでも印刷できます。

＊2 カードフォトプリンター CP-10/CP-100/CP-200/CP-300 もお使いになれます。

2. カメラの電源を入れ、液晶モニター左上に、または、が表示されていることを確認する（①）

・ボタンが青色に点灯します。
・表示されるアイコンは、プリンターによって異なります。
・動画の場合、SET が表示されます。

3. ←/→ボタンで印刷したい画像を選び（②）、ボタンを押す（③）

・タッチホイールでも画像を選べます。
・ボタンが青く点滅し、印刷が始まります。

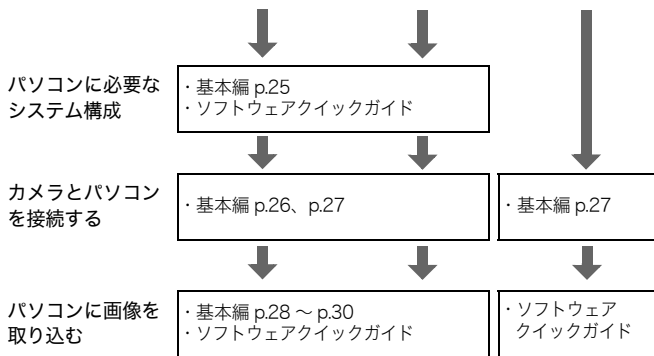
応用編：DPOF の印刷指定（p.98）
ダイレクトプリントユーザーガイド
お使いのプリンターの使用説明書

パソコンに画像を取り込む

カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法は次のとおりです。お使いの OS によっては利用できない方法があります。あらかじめ「パソコンに必要なシステム構成（p.25）」でご確認ください。

■カメラとパソコンを接続する

付属のソフトウェア	インストールする		インストールしない
取り込む方法	パソコンの操作	カメラの操作	パソコンの操作
Windows 2000	●	●	－
Windows XP	●	●	●
Windows Vista	●	●	●
Mac OS X	●	●	●

	インストールする（パソコンの操作・カメラの操作）	インストールしない（パソコンの操作）
パソコンに必要なシステム構成	・基本編 p.25 ・ソフトウェアクイックガイド	
カメラとパソコンを接続する	・基本編 p.26、p.27	・基本編 p.27
パソコンに画像を取り込む	・基本編 p.28 ～ p.30 ・ソフトウェアクイックガイド	・ソフトウェアクイックガイド

■メモリーカードリーダーを利用する

上記のすべての OS でお使いになれます。ソフトウェアクイックガイドでご確認ください。

パソコンに必要なシステム構成

ソフトウェアは、以下の条件を満たすパソコンにインストールしてお使いください。

■ Windows

OS	Windows 2000 Service Pack 4 Windows XP(Service Pack 1、Service Pack 2を含む) Windows Vista
機種	上記OSがプリインストールされていて、USBポートが標準装備されていること
CPU	Windows 2000 / Windows XP :Pentium 500MHz以上 Windows Vista :Pentium 1.3GHz以上
RAM	Windows 2000 / Windows XP :256MB以上 Windows Vista :512MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ・ZoomBrowser EX :200MB以上 ・PhotoStitch : 40MB以上 ●Canon Camera TWAIN Driver : 25MB以上
ディスプレイ	1,024×768ドット High Color(16bit)以上

■ Macintosh

OS	Mac OS X(v10.3～v10.4)
機種	上記OSがプリインストールされていて、USBポートが標準装備されていること
CPU	PowerPC G3/G4/G5またはIntel プロセッサー
RAM	256MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ・ImageBrowser :200MB以上 ・PhotoStitch : 40MB以上
ディスプレイ	1,024×768ドット 32,000色 以上

画像を取り込む準備をする

必ずソフトウェアをインストールしてから、カメラとパソコンを接続してください。

用意するもの

・カメラとパソコン
・カメラに付属の「Canon Digital Camera Solution Disk」
・インターフェースケーブル（必ずカメラに付属のケーブルをお使いください。）

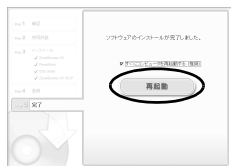
1. ソフトウェアをインストールする

Windows

1. **Canon Digital Camera Solution Disk を CD-ROM ドライブにセットする**

2. **[おまかせインストール] をクリックする**
表示されるメッセージにしたがって、インストールを進めます。

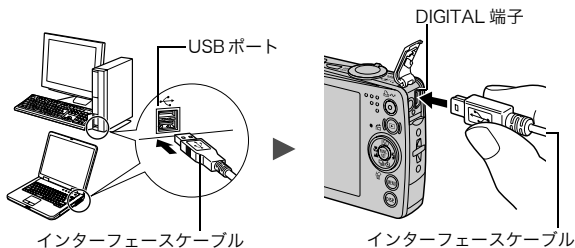
3. **インストールが終了したら、[再起動] または [完了] が表示されるので、表示されたボタンをクリックする**

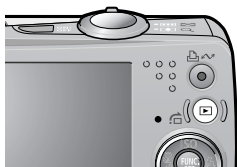
4. **通常のデスクトップの画面が表示されたら、CD-ROM を取り出す**

Macintosh

CD-ROM 内の をダブルクリックすると、右の画面が表示されます。[インストール] を選択し、表示されるメッセージにしたがって、インストールを進めてください。

2. カメラとパソコンを接続する

1. 付属のインターフェースケーブルで、パソコンの USB ポートとカメラの DIGITAL 端子を接続する

カメラの端子カバーは、爪やリストストラップの止め具を下端にかけて開き、インターフェースケーブルを奥まで差し込みます。

2. カメラの▶ボタンを押し、電源を入れる

カメラとパソコンが通信できる状態になります。

カメラの DIGITAL 端子からインターフェースケーブルを取り外すときは、必ず、コネクターの側面を持って取り外してください。

Windows

[デジタル署名が見つかりませんでした] と表示された場合は、[はい] をクリックしてください。接続が完了し、カメラとパソコンが通信できる状態になると、USB ドライバが自動的にパソコン内にインストールされます。

Windows パソコンに画像を取り込む

カメラとパソコンが通信できる状態になると、初期設定を行うウィンドウが表示されます。

1. [Canon CameraWindow] を選び、[OK] をクリックする（初回のみ）

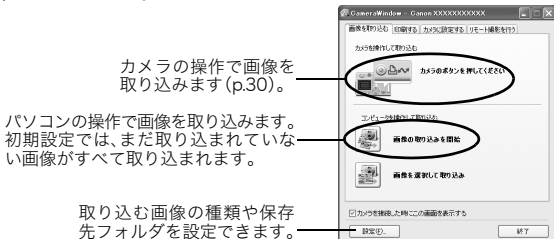
上記のウィンドウが表示されない場合は、[スタート]メニューから［すべてのプログラム］または［プログラム］▶[Canon Utilities]▶[CameraWindow]▶[PowerShot-IXY-IXUS-DV 6]▶[CameraWindow］をクリックします。

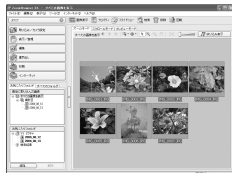
2. 画像を取り込む

・「カメラの操作」または「パソコンの操作」で画像を取り込みます。
・初期設定では、［ピクチャ］または［マイピクチャ］フォルダに画像が取り込まれます。

カメラの操作で画像を取り込みます(p.30)。

パソコンの操作で画像を取り込みます。初期設定では、まだ取り込まれていない画像がすべて取り込まれます。

取り込む画像の種類や保存先フォルダを設定できます。

ZoomBrowser EX のメインウィンドウに、取り込まれた画像のサムネイル（縮小された画像）が表示されます。初期設定では、パソコンに取り込まれた画像は、撮影日ごとにフォルダに保存されます。

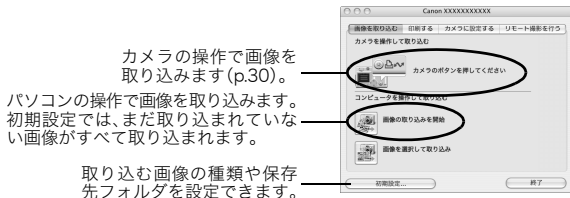
Macintosh パソコンに画像を取り込む

カメラとパソコンが通信できる状態になると、次のウィンドウが表示されます。表示されない場合は、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の［Canon CameraWindow］アイコンをクリックします。

1. 画像を取り込む

・「カメラの操作」または「パソコンの操作」で画像を取り込みます。
・初期設定では、［ピクチャ］フォルダに画像が取り込まれます。

カメラの操作で画像を取り込みます(p.30)。

パソコンの操作で画像を取り込みます。初期設定では、まだ取り込まれていない画像がすべて取り込まれます。

取り込む画像の種類や保存先フォルダを設定できます。

ImageBrowser のブラウザウィンドウに、取り込まれた画像のサムネイル（縮小された画像）が表示されます。初期設定では、パソコンに取り込まれた画像は、撮影日ごとにフォルダに保存されます。

カメラの操作で画像を取り込む（ダイレクト転送）

カメラの操作で画像を取り込めます。初めてダイレクト転送で画像を取り込むときは、付属のソフトウェアを最初にインストールし、パソコンの設定をしておいてください（p.26）。

	全画像	すべての画像をパソコンに取り込み、保存します。
	未転送画像	まだ取り込んでいない画像だけをパソコンに取り込み、保存します。
	送信指定画像	送信指定した画像（応用編 p.102）だけをパソコンに取り込み、保存します。
	画像を選んで転送	画像を見ながら 1 画像ずつパソコンに取り込み、保存します。
	パソコンの背景	画像を見ながら、パソコンのデスクトップの背景にしたい画像を取り込みます。取り込んだ画像は、パソコンのデスクトップに背景として表示されます。

1. カメラの液晶モニターにダイレクト転送画面が表示されていることを確認する

・ボタンが青色に点灯します。
・ダイレクト転送画面が表示されない場合は、MENU ボタンを押してください。

■［全画像］［未転送画像］［送信指定画像］のとき

2. 、、のいずれかを選び、ボタンを押す

・画像が取り込まれます。取り込み中は、ボタンが青色に点滅します。取り込みが終了するとダイレクト転送画面に戻ります。
・取り込みを中止するときは、FUNC./SET ボタンを押してキャンセルします。

■［画像を選んで転送］［パソコンの背景］のとき

2. または を選び、ボタン（または FUNC./SET ボタン）を押す

3. 取り込みたい画像を選び、ボタン（または FUNC./SET ボタン）を押す

・画像が取り込まれます。取り込み中は、ボタンが青色に点滅します。
・インデックス再生時（応用編 p.72）も、画像を選べます。
・MENU ボタンを押してダイレクト転送画面に戻ります。

［パソコンの背景］の場合、JPEG 圧縮の画像のみが取り込まれます。Windows をお使いの場合は、BMP 画像が自動的に作られます。

ボタンで選択した項目は、カメラの電源を切っても記憶されます。次回、ダイレクト転送画面を表示したときは、前回設定した項目が選択されます。［画像を選んで転送］と［パソコンの背景］を選択していたときは、ただちに画像を選択する画面が表示されます。

安全上のご注意

本機器を使用する際は、けがや火災、感電などを防ぐため、下記の注意事項にしたがって、正しくお使いください。

カメラユーザーガイド（応用編）の「取り扱い上のご注意」も必ずお読みください。

⚠警告

- **ストロボを人の目に近付けて発光しないでください。**
- **お子様や幼児の手の届かないところに保管してください。**
- **落下などで、強い衝撃を与えないでください。カメラのストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。**
- **煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。**
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
- **指定外のバッテリーを使用しないでください。**
- **バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターの出力端子は本機器専用です。他のバッテリーや製品には、お使いにならないでください。**

⚠注意

- **ズボンやスカートの後ろポケットに本機器を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や液晶モニターの破損の原因となります。**